



期日	令和5年9月19日（火）	時間	19:00～20:30	場所	坂井市役所3階大ホール
参加者	坂井市自治会連合会代議員／17人 …三国町区長会連合会役員、地区区長会会長				
	坂井市／8人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、生活環境部長				

## 参加者からの意見・提案等

**Q.** 人口減少が進む中で、坂井市では結婚応援課が創設され様々な活動をされていますが、婚活イベント等をもっと発信した方がいいと思います。また、それに限らず坂井市の施策、様々な情報をできるだけ届けて欲しいです。

**Q.** 自分の住んでいるところの文化や歴史を知らずして、それを発信するのは難しいので、広報さかいの「さかい風土記」で知る機会があることは大事です。さかい風土記を広くアピールし文化財と観光を連携させ長期的な展望を持つといいと思います。

**Q.** コロナが5類に移行され、地域の活動も戻りつつあるが地域の再生には「元気を取り戻す」ことが大切だと思います。担い手不足が叫ばれているが元気なシニアが核となり、担い手不足を補っていくという考え方も必要だと思います。

**Q.** 県では11月からデジタル地域通貨の運用が始まりますが、坂井市も通所型サービスB等のボランティア事業に活用してはいかがでしょうか。ボランティアする側はポイントを貯めて使用でき、高齢者はボランティアのおかげで元気に生活できるようになると市にとっても介護にかかる費用の軽減につながるのではないのでしょうか。

**Q.** 新幹線開通にあたり、坂井市に観光客がいかにかたくさん来てくれるか、リピーターになってくれるかが今後の坂井市にとって大切だと思います。今以上に次世代のことを考えて良いところを県内外にアピールして欲しいです。そういうことが実行できると今以上に活性化していくのではないかと思います。

## 市からの返答

**A.** 結婚応援宣言を出しましたし、まずは結婚に対する意識を高め、二つ目に出会いの場を創設、三つ目に生活に対する県内一番の手厚い支援、これをPRの材料にしていきたいです。それが企業誘致にもつながってくると思っているので周知方法を工夫していきたいです。

**A.** さかい風土記は市内の史跡や文化財などを様々な視点で紹介しており、今後も多くの市民に興味を抱いてもらって足を運んでもらえるよう努めていきたいです。昨年、文化財保存活用計画も策定したので、市民に歴史や文化を分かりやすく発信する方法を検討していきます。

**A.** コロナの制約がなくなり今までの状態に戻すことが大事だと思います。我々行政としてもできることはあると思うので私でよければ盛り上げに行きますが、ぜひ皆さんで盛り上げて欲しいし、もう一度やろうじゃないかという雰囲気復活させて欲しいと思います。

**A.** 11月の県の運用が始まるタイミングはありますが、一方で坂井市独自で実施している事業もあるので、それをすべて11月に向けて統合できるかという難しい部分もあります。デジタル通貨は手掛けていきたいと思っていますので、できるだけ期待に沿うような形で、健康や介護予防にもつながるような仕組みを検討していきたいと思っています。

**A.** 私も全く同様の考えで、一番大事なことはPRだと思っていて、マスメディアだけでなく、SNSの活用も工夫していきたいです。また、丁寧なおもてなしがあればリピーターになっていただけだと思いますので、そのあたりは問題意識を持って取り組みたいと思っています。坂井市の良さを伝えていくことが、ひいては子どもたちにもこの良さに気づいてもらえることにつながると考えますし、UターンIターンにもつながりますので全力で取り組んでいきます。